

行政の窓 「北海道モデル」に取り組みます！

本道はこれまで、高い食料供給力や豊かな森林資源などを活かし、我が国の発展に寄与してきました。また、道内各地において地域資源を活用した特色のある取組を通じ、地域活性化の芽が育っています。こうしたことから、北海道の将来の姿を見据え、北海道が有する優位性や特性（北海道固有の「価値」：「北海道価値」）を活かして、北海道を元気にするとともに、我が国が抱える課題の解決、国内外への貢献につなげていく戦略的な取組を「北海道モデル」として推進していきます。

北海道モデルは「食・観光・健康」「環境・エネルギー」などの分野ごとに取り組むこととしており、「環境・エネルギー」の分野において、バランスのとれた森林資源管理と多様な産業分野との連携による林業再生、地域経済の活性化を目指す「森林資源循環モデル」を推進していきます。

森林資源循環モデルの構築

北海道モデル構築の考え方

〔本道の優位性〕

- 全国の森林面積の 4 分の 1 を占める豊富な森林資源
- 国の目標値を上回る本道の木材自給率
 - ・ 道の現状 56% (H20)
 - ・ 国の現状 24% (H20)
 - 目標 50% (H32)
 - ※新成長戦略

〔背景〕

人工林資源の循環利用が可能な適切な資源管理による林業再生の取組を通じて

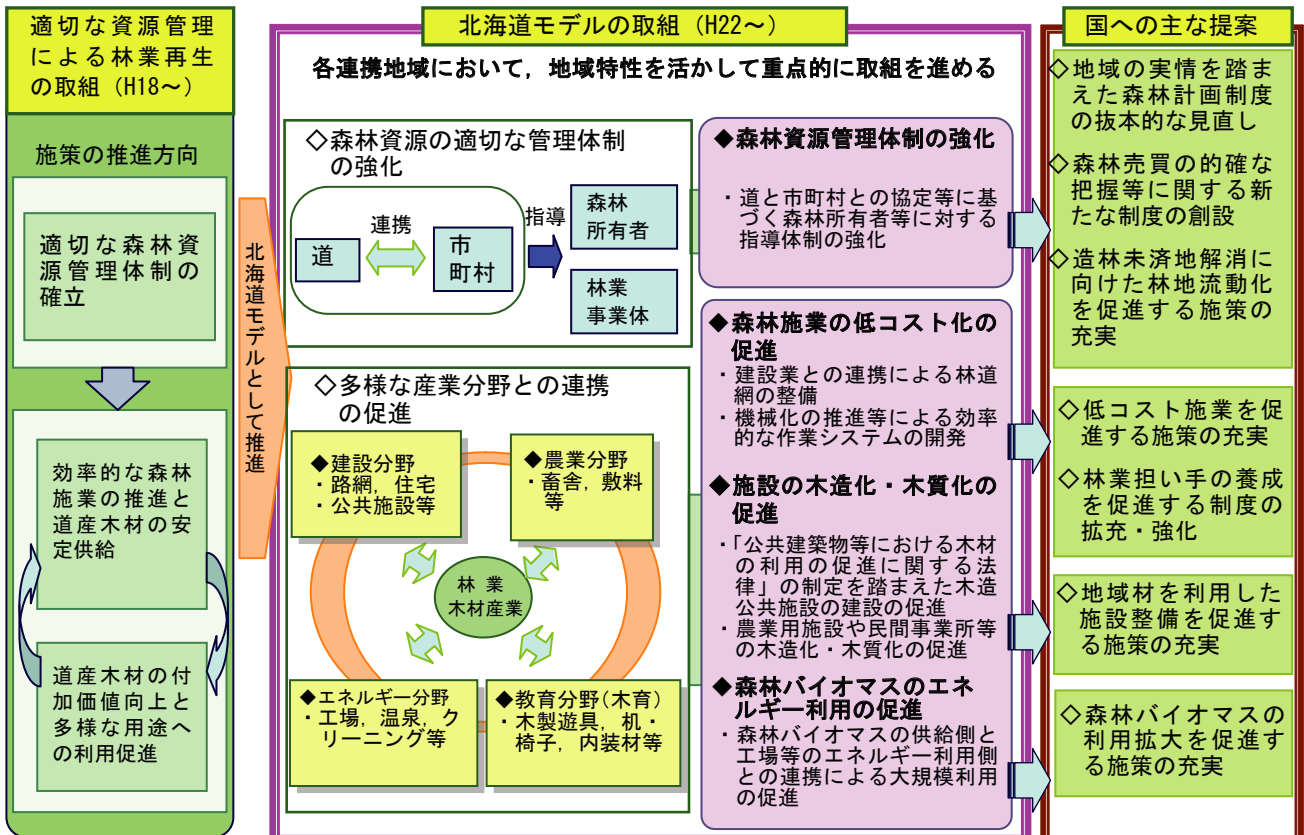
- ・ 先進的な取組が地域に根付きつつある
- ・ 他産業と連携する素地ができつつある

〔北海道モデルの取組〕

- 先進地域の取組を強化することによる全道の底上げ
- ・ 森林資源の適切な管理体制の強化
 - ・ 多様な産業分野との連携の促進

〔期待される効果〕

- 適切な資源管理に基づく木材の安定供給体制の確立
 - 道産材供給率の向上
 - 国の自給率向上の目標達成に貢献
- 多様な分野との連携による地域の取組の推進
 - 本道の林業再生の加速化



「北海道モデル」の展開については、国・道の施策を集中投入するなどして、取組を進めるとともに、国に対し、必要な規制緩和や支援制度の創設などについて提案していきます。

(水産林務部林務局 林業木材課 林業木材グループ)